



採用に関するお問い合わせ



防衛装備庁 長官官房人事官付 採用担当
〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5番1号
TEL 03-3268-3111(内線番号35826・35827)
HP <https://www.mod.go.jp/atla/saiyou>

*本採用案内は令和7年3月に作成したものであり、その時点での情報を掲載しています。
*本採用案内に掲載されている写真・文章などの無断転載・複写を禁止します。



防衛装備庁

[行政職採用案内]

その手が
紡ぐ、
ミライ。



我が国を取り巻く安全保障環境が変化する中、自衛隊の活動がますます重要視されています。そんな自衛隊に欠かせない戦車や護衛艦、迷彩服、食糧。わたしたちはこうした「防衛装備品」に関わる行政を担っています。

自衛隊の活動を支えるために、行政職は幅広い業務を担当します。安全保障の計画や政策立案、国際協力調整、装備品調達等そのどれもが、日本の安全と平和を守るために欠かせない重要な仕事です。

変化の絶えない状況に適応し、リーダーシップとチームワークを持ちながら、国民のために尽力する。そして、革新的な技術と戦略を駆使し、国内外の脅威に対処しながら、安心と安全を築き上げる。それがわたしたち行政職の使命だといえます。

わたしたちは、豊かな経験と専門知識を発揮する「防衛のプロフェッショナル」として、我が国の平和で豊かな未来を築く一翼を担っているのです。



その手が紡ぐ、
ミライ。



Contents

メッセージ・目次	01
防衛装備庁の役割	03
新卒者アンケート	05
福利厚生	06
勤務地	07
私が防衛装備庁を選んだ理由	09
新卒就活スケジュール	10
職員業務紹介	11
行政職の魅力	23
キャリアステップ	24
防衛装備庁の働きやすさ	25
採用情報	26

防衛装備庁の役割

防衛装備庁は、自衛隊の運用に必要な戦車や護衛艦、迷彩服、食糧、燃料といった「防衛装備品」に関わる行政を担っています。日本の安全保障を、防衛装備品を通して支える仕事です。

行政職の役割について

自然災害の発生増加や、日本を取り巻く世界情勢の厳しさが増す中、自衛隊の活動が一層重視されています。その自衛隊の活動をサポートするのが、防衛装備庁の行政職です。

具体的な仕事内容は、安全保障や防衛力の計画、予算の編成、政策の企画・立案、国際協力の調整、装備品の調達等。

こうした装備品に関わる様々な業務を通じて、日本の安全と平和を守る役割を担っています。社会的意義を強く感じられ、スケールの大きな業務に携わることができます。



文系も理系も活躍できる！ 防衛装備庁行政職の魅力とは？

防衛装備庁には様々な部門があり、業務内容の幅広さが特徴。そのため、文系・理系を問わず、学んだ知識やスキルが活かせる環境があります。また、若手職員にも積極的に業務を任せ、実践を通して成長を支援しています。

防衛の現場で活きる 大学で得た国際政治の知識。

大学では国際政治を学んでいました。1年目ながら採用担当という重要な業務を任されている今、大学時代の学びは防衛装備庁の役割を理解することに役立っています。

2024年入庁
長官官房人事官付



文系

理系で培ったスキルを発揮し サイバー領域の安全を守る。

入庁後は産業サイバーセキュリティ室に配属。医情報学科出身という経歴から、システムセキュリティ実装計画書の確認といった理系らしい業務にも携われています。

2023年入庁
装備政策部装備保全管理課



理系

防衛装備庁の職員として 「間近に体験できること」をご紹介します！

命名式・進水式

新たに建造した艦艇に名称を付与し、初めて水上に浮かべる命名式・進水式。調達事務に関わった艦艇が大臣から命名され、無事に海に繰り出した時の達成感は大きく、国防に貢献していることを実感できる瞬間でもあります。



国際装備展示会

防衛装備庁では、世界各国で行われる国際装備展示会に年数回参加。ブースを出展し、日本の装備品の魅力や高い技術力を日本企業とともに広く発信し、諸外国との防衛装備及び技術協力を推進しています。



総合火力演習見学

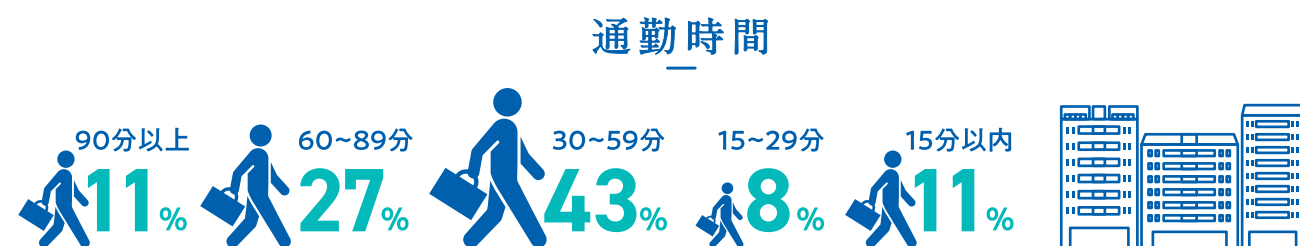
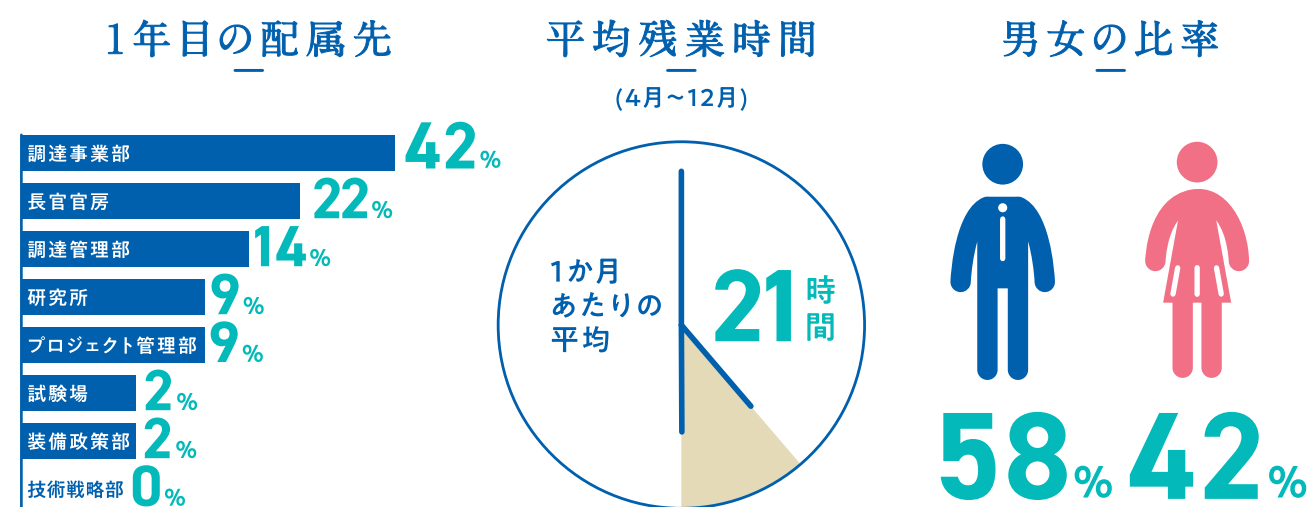
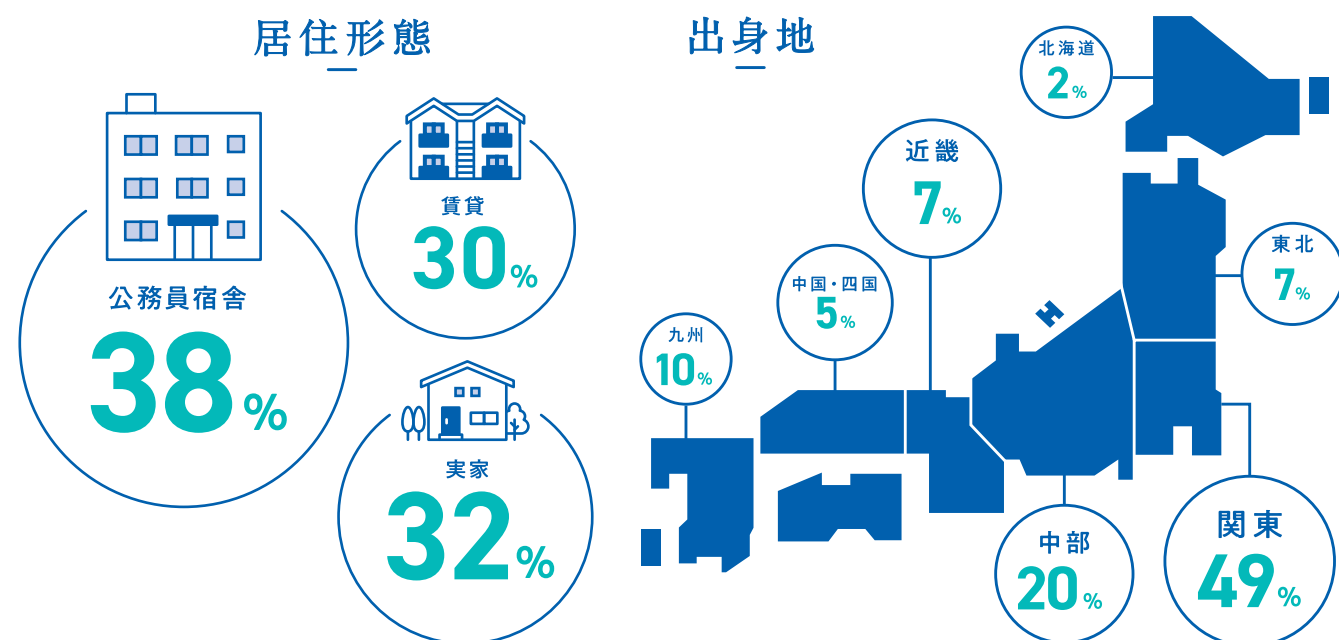
毎年実施している陸上自衛隊の実弾演習「富士総合火力演習」。富士学校の学生に対して火力戦闘の様相を認識させることを目的として、1961年に開始されました。現在は一般公開されておらず、見学できるのは貴重な体験です。



新卒者アンケート

入庁者の多様性や特徴を数値でご紹介するページです。様々なバックグラウンドを通して、防衛装備庁の特徴を知ることができます。

※令和6年度に行政職で採用された44名の事務官に協力いただきました。



福利厚生

充実した福利厚生で、職員一人ひとりの業務と家庭生活との両立や健康をサポート。育児や介護など、様々なライフステージを経ても、長く働いていける環境を整えています。



主な福利厚生制度

健康保険・医療制度

職員とその家族を対象とした健康保険や各種健診の助成制度も。急な病気等にも対応できるよう、各職場には医療施設を併設。

育児・介護休業制度

育児休業制度は子が3歳になる日まで休業できる制度で、男性職員の育休取得者も多数。介護休業は6か月の期間内で利用できる制度。

年次有給休暇

年次有給休暇は年20日（4月1日採用の場合、採用年は15日）。残日数は最大20日を翌年に繰り越し可能。

特別休暇

結婚、不妊治療、出産、忌引、人間ドック、ボランティア等、様々な特別休暇を付与。

職場環境改善

業務効率化や勤務時間管理徹底、休暇・育休取得率の目標値も掲げ、ワークライフバランスを推進。

育児支援

子の看護休暇、1日2時間取得可能な育児時間制度、育児短時間勤務など、充実の育児支援体制。

介護支援

年間5日取得可能な短期介護のための特別休暇、1日2時間取得可能な介護時間制度も用意。

職員の声

自分のライフスタイルに合った働き方

11歳と6歳の娘を育てるワーキングマザーです。都内から離れた場所に住んでいるため通勤に時間がかかり、また保育時間にも制限があるため、育児時間制度を利用して9時30分から17時15分まで勤務しています。育児時間制度を利用することで、毎日一定の出退勤時間で勤務でき、子どもの生活リズムも整うため、小さなお子さんを養育する方にはぜひ利用してほしい制度です。



勤務地

防衛装備品には海外からの輸入品が多数あり、その業務を行うために、海外に職員が派遣されています。



海外事務所

A サンフランシスコ:1名



B ロサンゼルス:3名



C デイトン:1名



D ワシントンD.C.:4名



転勤制度について

転勤先の勤務地

転居や単身赴任を削減していくため、採用後は中央機関(市谷)と地方ブロックを単位とした人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でもブロック内が基本となります。大卒者は概ね本庁内部部局で、高卒者は本庁施設等機関を基本とした転勤が概ね2～3年のサイクルで行われます。

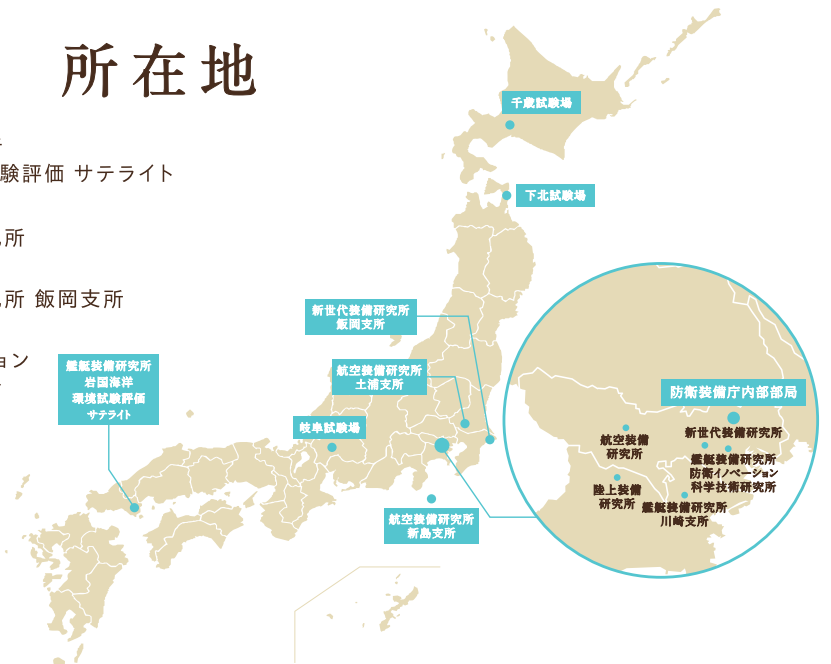
※ただし、適正や希望等に応じ中央機関(防衛省内部部局等)や他のブロックに人事異動することもあります。

サポート制度

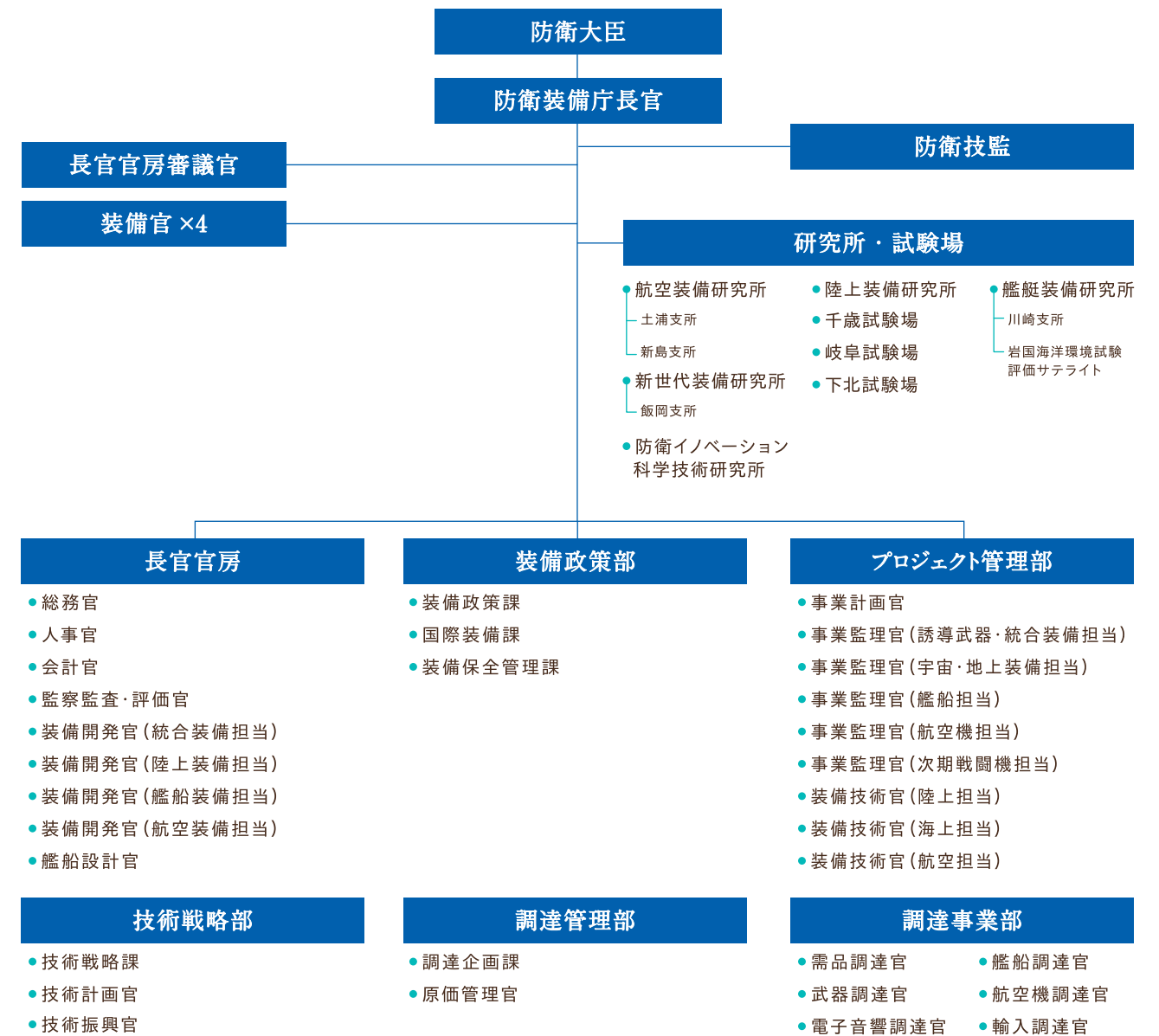
毎年異動に係る希望調査が行われ、意思を伝えることが可能です。転居を要する転勤の場合、引っ越し費用の支給があります。福利厚生アウトソーシングでは引っ越しの一括見積や家具のレンタルが利用できます。

所在地

- 防衛装備庁内部部局
東京都新宿区
- 航空装備研究所
東京都立川市
- 航空装備研究所 土浦支所
茨城県稲敷郡阿見町
- 航空装備研究所 新島支所
東京都新島村
- 陸上装備研究所
神奈川県相模原市
- 艦艇装備研究所
東京都目黒区
- 艦艇装備研究所 川崎支所
神奈川県川崎市
- 艦艇装備研究所
岩国海洋環境試験評価 サテライト
山口県岩国市
- 新世代装備研究所
東京都世田谷区
- 新世代装備研究所 飯岡支所
千葉県旭市
- 防衛イノベーション
科学技術研究所
東京都渋谷区
- 千歳試験場
北海道千歳市
- 下北試験場
青森県下北郡東通村
- 岐阜試験場
岐阜県各務原市
- 千歳試験場
北海道千歳市
- 下北試験場
青森県下北郡東通村
- 岐阜試験場
岐阜県各務原市



防衛装備庁の組織



新卒就活スケジュール

高卒就活スケジュール

- 進路(国家公務員試験受験)を決めた時期**
高校2年3月頃
- 勉強していた時期**
高校3年の4月～9月
(特に7月、8月は1次試験に向けてラストスパートをかけた)
- 面接練習していた時期**
高校3年の9月末～11月中旬(二次試験合格発表日まで)
- 試験勉強や面接にあたって意識していたことや、高校生ならではのポイント**
公務員試験に特化した授業はないため、自主的に専門学校の無料セミナーに参加するなど勉強時間の確保を意識しました。部活動、体育祭、文化祭など学校生活を楽しみながら公務員試験合格を目指すという忙しくも充実した生活を送れるのは高校生ならではのポイントだと思います。

専門学校卒就活スケジュール

- 進路(国家公務員試験受験)を決めた時期**
専門学校2年の夏
- 勉強していた時期**
専門学校が公務員試験合格のための授業に特化していたので、週5の2年間
- 面接練習していた時期**
1次試験終了と同時に練習開始
- 国家公務員試験を受験するにあたって意識していたポイント**
勉強も楽しく取り組むことを意識していました。
やりたくない気持ちで勉強をしていると覚えることもできず、やる気にもならないため、遊ぶ時は遊んで、勉強する時は勉強するメリハリをしっかりと持つことが大切です。

大卒就活スケジュール

- 進路(国家公務員試験受験)を決めた時期**
大学2年冬頃
- 勉強していた時期**
大学3年春～大学4年春
- 面接練習していた時期**
大学3年秋～冬
- 国家公務員試験を受験するにあたって意識していたポイント**
すきま時間を試験勉強に活用し、卒業論文やアルバイトとの両立に努めました。
説明会などに積極的に参加し、悔いのない進路選択ができるよう情報収集していました。

社会人就活スケジュール

- 仕事をしていた時期(何歳から何歳まで)**
25歳から26歳まで(2年間)
- 進路(国家公務員試験受験)を決めた時期**
25歳の12月ごろ(試験の半年前くらい)
- 勉強していた時期**
試験の3ヶ月ほど前から勉強開始
- 試験勉強や面接にあたって意識していたことや、社会人ならではのポイント**
現職の業務量を調整しながら、勉強時間も確保する生活は大変ですが、自分の苦手分野を重点的に効率よく勉強することで入庁することができました。面接試験は平日に行われるため、休暇をとれるよう仕事の調整をすることも重要なポイントです。

私が防衛装備庁を選んだ理由

1年目事務官のリアルな声

国際情勢がひっ迫している中で、日本の安全のために働くことができる環境に魅力を感じたからです。

調達管理部 調達企画課

歴史や文化の継承には平和で安定した社会が必要であることから安全保障に興味を持ち、防衛装備庁への入庁を志望いたしました。

調達管理部 原価管理官付

我が国周辺の安全保障環境が急速に複雑化、深刻化している中、防衛力の基盤である装備品から国防に携わりたいと思い志望しました。

長官官房 会計官付

家の近くに空自の基地があり、日頃から訓練機を見ている中で自らも国防に貢献したいと思いました。その中でも、防衛力の物的基盤である装備品に携わりたいと考え、防衛装備庁に入庁しました。

調達事業部 航空機調達官付

大学院で経済安全保障について学ぶ中で、国民の安全を守る仕事に関わりたいと思い、特に自衛隊の装備品に関わる装備庁に魅力を感じ志望しました。

調達事業部 需品調達官付

安全保障の重要性を増していく中で、防衛力そのものである防衛装備品を通じて我が国の安全保障に貢献したいと考え、思い切って転職しました。

調達管理部 調達企画課

装備品を間近で見える機会があり、私も規模の大きな装備品に携わってみたいと思い防衛装備庁を志望しました。

調達事業部 艦船調達官付

安全保障が国の重要な課題として挙げられる中で、防衛力強化の中心的要素の一つである装備品を通じ、スケールの大きな仕事に携われる点に魅力を感じ志望しました。

調達事業部 電子音響調達官付

国防や災害支援を行う上で必要不可欠な装備品の供給という観点から、国と国民の安全を守ることに携わりたいと考え、防衛装備庁を志望しました。

調達事業部 電子音響調達官付

装備品を主軸に、調達といった実務面や制度設計といった政策面等、様々な形で我が国の防衛力強化に携わることができると考え志望しました。

調達管理部 原価管理官付

ロシアのウクライナ侵攻が勃発する中で、国際関係を学び、日本の安全保障政策に携わる仕事がしたいと思い、防衛装備庁を選びました。

調達事業部 艦船調達官付

当たり前の日常を守る仕事に就きたいと思い防衛省を志望しました。その中でも、守りたいという思いを具体的に形にできる装備品に関わりたいと思い、防衛装備庁を志望しました。

長官官房 総務官付

安全保障に関心があり、仕事で就きたいと考え防衛省を志望。その中で、防衛に不可欠な装備品に関する業務に従事し、日本の安全に貢献するという重要性和規模の大きさに魅力を感じ、防衛装備庁を志望しました。

調達事業部 電子音響調達官付

私の出身地にある出先機関の説明会に参加した後に、本庁の説明会に行くと、人事の方が初対面の私の名前を知っていて声をかけ歓迎していただいた経験から、職員を大切にする温かい職場であると分かり入庁を決めました。

長官官房 会計官付

防衛装備庁では、中央調達を主たる業務としています。その中でも、普段ニュースで目にするような装備品が、契約締結から部隊への納入までどのようなプロセスを経るのかに興味があり、防衛装備庁を選びました。

調達事業部 艦船調達官付

防衛装備行政に携わりたく考えたため入庁することを決めました。さらに、各種研修制度が充実しており、業務上必要な知識を都度身につける機会が豊富なことも大きな魅力でした。

長官官房 総務官付

大学で公共政策に興味を持ち、平和な生活を送る上で不可欠な国防に携わりたいと考えようになりました。中でも、装備品に関する業務に関心を持ち、装備庁に入庁しました。

調達事業部 輸入調達官付

防衛装備品は、自衛隊の運用にとって切り離せない重要なものであり、防衛装備品を通して日本の安全保障を支えていきたいと思い志望しました。

調達事業部 武器調達官付

採用スケジュール

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）



国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）



防衛省専門職員採用試験



÷ 職員業務紹介 ÷

長官官房会計官付

防衛装備庁職員の給与に係る業務に従事しています。各種手当の支給に係る業務から、住民税の控除、公務員宿舍や食事代等の債権管理、年末調整業務にいたるまで、庁内で働く職員への給与支給事務全般を担っています。

安全保障の持続的強靱性に貢献したい。
その想いを活かします。

業務を通して
養われる知恵。

入庁1年目の年末調整では、まだ知識がなく戸惑う場面もありましたが、税制について学び、各機関とやり取りをする中で会計業務への解像度が上がりました。

大切にされる温かみと
安心感。

担当庶務の方からお礼の言葉をいただいたり、採用時にお世話になった人事の皆様から優しくお声をかけていただいたり、人を大切に
する温かい職場だと日々実感しています。

働く場所紹介 本庁(市谷)

不慣れな業務で困っていると、いつも先輩が気にかけて助けてくれます。また上司も同僚も親身になって相談に乗ってくれるので心強い
です。



体調やプライベートに合わせて休暇を取りやすい環境です。また育児休暇や介護休暇も取得しやすく、安心して将来設計を描けるのも嬉しい
です。



÷ 職員業務紹介 ÷

装備政策部 国際装備課

防衛装備品に関わる政策全般を担当する装備政策部。
その中で国際装備課は、我が国を取り巻く安全保障環境を踏まえて防衛装備移転をはじめとする各国との防衛装備・技術協力に関する業務を担っています。

一つひとつの仕事が国防につながる。
社会に貢献できることに誇りと
やりがいを実感。

円滑な業務遂行をサポート。

庶務担当として多岐にわたる依頼に対応しています。課員が少しでもスムーズに業務遂行できるようサポートしています。自分の携わった業務が報道で取り上げられることもあり、社会と密接に関わっている
ことを感じます。

国民から信頼される組織に。

近年は防衛省・防衛装備庁に関する報道を目にする機会が増えました。私自身の業務一つひとつに責任を持って丁寧に向き合うことで、国民の皆様信頼いただける組織づくりに貢献
できるよう、日々努めています。

働く場所紹介 本庁(市谷)

事務官をはじめ、様々な職種の職員が勤務しています。自分にはない発想や考え方に接する機会が多く、日々新たな発見・学びがある刺激的な職場です。



休暇が取得しやすく、育児支援制度を活用している職員も多いと感じています。ワークライフバランスを重視したメリハリのある働き方ができる環境です。



÷ 職員業務紹介 ÷

プロジェクト管理部 事業監理官 (宇宙・地上装備担当) 付

各種レーダーや小型無人機対処器材、指揮通信システムなどの装備品にかかる各種照会やプロジェクト管理業務に従事しています。また、装備移転業務にも力を入れており、国際装備課と連携をしつつ業務を遂行しています。

どんなに些細に見える仕事も、すべてが日本の安全保障環境の構築に寄与しているという実感とやりがいをもたらしてくれる。

考えやり抜く面白さを実感。

フィリピン空軍要員が来日し、意見交換を実施した際、資料の作成からプレゼンテーションの実施まで自ら考え行動したのは、自分にとって挑戦的な経験でした。

業務を通じて成長や課題を認識。

経験を重ねるごとに「何が必要で何がダメだったのか」が明確になります。自らの成長や課題を認識しやすいことは、この仕事ならではの魅力です。

働く場所紹介 本庁(市谷)

有給休暇を取得しやすく、プライベートも両立しやすい環境。また産休育休は男性も取得できるなど、ライフイベントも大切にできるのも魅力です。



各国の在外公館や米国事務所など、海外で活躍するチャンスもあります。私もいずれは海外勤務に挑戦し、日本の防衛装備品の国際的評価の向上に寄与したいです。



÷ 職員業務紹介 ÷

技術戦略部 技術振興官付

科学技術の振興に関する政策・制度の企画立案に関する各種業務を行います。令和6年10月に設立した防衛イノベーション科学技術研究所に関する業務に取り組んでおり、特に、取材対応や、国会に関連する業務等を担当しています。また、装備品等に関する知的財産の管理に関する業務も担当しています。

陸・海・空、それぞれの自衛隊と連携。
民間とも広く関わりながら国防の一翼を担う。

多彩な業務で成長できる環境。

省内外からの依頼を取りまとめる総括業務をはじめ、高官視察時の各種調整、民間企業等との会議、中央調達に関する仕様書の確認などを担当しています。

担当業務が報道されることも。

業務範囲が広く大変なこともありますが、やりがいも大きいです。テレビ局から取材依頼を受けて調整・対応した番組が放送された際には達成感がありました。

働く場所紹介 本庁(市谷)

政策の企画・立案だけでなく調達の実務にも携われるのが防衛装備庁の魅力。今後も幅広い業務にチャレンジして微力ながら国防に貢献していきたいです。



休暇が取りやすく、夏休みや年末年始は旅行や遠方の実家へ帰省しています。また、毎月1日～2日ほど休暇を利用してリフレッシュするのが私のスタイルです。



✦ 職員業務紹介 ✦

調達管理部 原価管理官付

市場にない装備品等の調達価格を算定するため、企業から提出される財務資料・会計資料をもとに、経費率（加工レート等）を算定します。また、実際に各企業の工場に出向き、品質やコスト、納期等の観点から企業努力を評価し、利益率を算定します。

経費率の算定業務を通して、億単位の規模の業務に携われるやりがいを実感。

自己研鑽を欠かさない。

業務支援として、実際の調達のための予算価格の算定も一部担当しています。将来的には原価計算の知識や経験を深め、周囲に頼りにされる存在になりたいです。

責任の分、
達成感も大きい。

調達管理部として、時には億単位の金額を扱うこともあります。一つひとつの仕事の金額規模や責任が大きい分、決裁が終わった際の達成感もひとしおです。

働く場所紹介 本庁（市谷）

私の職場では月に1回の有給取得が奨励されています。そのため、年次問わず有給休暇を取得しやすい雰囲気の魅力。プライベートも大切にできます。



研修制度が充実しているので、意欲があれば積極的に学びを深めることができます。自己研鑽の機会が多く、入庁後も成長を求める方にはぴったりの環境です。



✦ 職員業務紹介 ✦

調達事業部 電子音響調達官付

調達事業部では自衛隊の任務遂行に必要な防衛装備品や役務における予定価格の算定、契約の締結、契約履行の管理等、中央調達に関する事務業務を行います。特に電子音響調達官付では電波器材・磁気器材・音響器材・通信器材等に関することを扱います。

国と国民の安全を守りたい。
装備品調達を通じて
防衛力を高め、安全保障を
推進。

調達要求に基づき契約を締結。

主な業務は、要求内容の調整・入札・契約書類の作成等。関係各所と連携し、要求の受領から契約の締結まで一通り携わります。

防衛力の抜本的強化に貢献。

装備品調達は防衛力強化の観点でも非常に重要な位置づけにあります。昨今の防衛予算増額に伴って契約件数も増加傾向であり、やりがいを実感する日々です。

働く場所紹介 本庁（市谷）

業務を通じて国防の一端を担っていると感じられる場面が多いです。自分が調達に関わった装備品の運用現場を初めて目にした時の感動は忘れられません。



1時間単位で休暇が取れる時間休制度をよく利用しています。平日の空いている時間に諸用を済ませて、休日はやりたいことを思いっきり満喫できています。



✦ 職員業務紹介 ✦

航空装備研究所 管理部 会計課調達係

航空装備研究所において、研究や試験を行うために必要となる物品の購入や役務の実施には、民間会社との契約の締結が必要となります。これらに関わる仕様書の確認、公告の掲示などの調達業務を担当しています。

防衛装備品の研究開発を行政面で支援。
広い視野を持った会計課調達係を目指す。

業務の一つひとつが挑戦。

公告等の掲載から契約の締結、支払のための決議書の作成などの調達に係る工程を担当しています。貴重な経験も多く毎日が挑戦です。

現場の中で介在価値を実感。

誘導弾の発射試験の試験隊の一員として参加した際に、自分が調達した物品等が実際の試験現場で使用されている様子を見てやりがいを感じ、良い刺激となりました。

働く場所紹介 航空装備研究所

航空装備研究所では、航空機、航空機搭載機器及び誘導武器のシステム化技術及び要素技術に関する調査研究・試験等を行っています。



国設宿舍の整備などの福利厚生や休暇制度も充実しており、上京してきた方々でも安心して勤務できる環境が整っています。業務や年代に応じた研修も幅広く用意されており、安心してキャリアを築ける職場です。



✦ 職員業務紹介 ✦

陸上装備研究所 総務課 出納係

支払業務や旅費業務が任されており、研究所内で使用する備品等の支払書類の作成や、職員の異動にかかった費用に対し適切な支払いをするために、旅費法やマニュアルに基づいた書類の作成等を行っています。

多岐にわたる業務に携わりながら
防衛装備への理解を深め、会計の
エキスパートへ。

2年目にはすべての工程を担当。

最初はすでにでき上がった書類を確認する程度でしたが、2年目の今では書類の提出依頼から旅費の計算など全ての工程を担当できるようになりました。

より幅広い知識を身につけて。

今は研究所内や装備庁内の職員との調整がほとんどですが、将来的には外部との業務調整の経験も重ねながら、会計のエキスパートを目指していきたいです。

働く場所紹介 陸上装備研究所

陸上装備研究所は、火器、弾薬、耐弾・耐爆、車両、施設器材、CBRN※対処技術、個人装具等の研究や試験評価等を行っています。

※CBRN: Chemical(化学剤)、Biological(生物剤)、Radiological(放射線)、Nuclear(核)



家賃補助があり金銭的な負担を軽減できます。実際私も就職と同時に上京し一人暮らしを実現。自分で選んだ場所で暮らすことができ私生活も充実しています。



÷ 職員業務紹介 ÷

艦艇装備研究所 総務課 庶務係

研究所の窓口として研究所で必要な物品や役務の予算要求、執行、物品管理、研修・見学の補助などを行っています。ほかにも研究所宛のメールを取りまとめて報告したり、他部署と連携して対応したりと、研究所の窓口としてあらゆる業務を担っています。

他部署と関わりながら
仕事を進めるため、組織の全体像を
掴みやすいポジションです。

成果が目に見えるやりがい。

研究所が管理する樹木の剪定・伐採役務の調達要求書を作成する機会がありました。終了して樹木が綺麗になったのを見た際、頑張った良かったと思いました。

他部署と連携し、人脈を育てる。

研究所の窓口として、関係部署と多種多様な調整を行ったり突発的な事案に対応するなどコミュニケーションスキルが必要であるため、人脈も広げやすいです。

働く場所紹介 艦艇装備研究所

研修制度が充実しており、年代や業務に合わせた幅広いカリキュラムが用意されています。そのため、入庁後も継続してスキルアップしやすいのが魅力です。



事務官でも、実際に試験の様子を見学することができます。研究開発の現場を身近に感じられるのは、装備庁ならではの興味がある人には絶好の環境です。



÷ 職員業務紹介 ÷

新世代装備研究所 総務課 用度係

研究所で必要な物品や装備品等の調達窓口となり、物品管理の書類等を精査するほかに、物品の在庫管理や貸出の調整、書類作成を行っています。また研究所の設備点検や立会、修繕見積、計画などの施設管理も担当しています。

国防の一端を支え、最新の装備品や
研究開発の様子を間近で感じる面白さを
実感。

研究開発を支えるやりがい。

私の仕事は直接研究に携わるわけではありませんが、研究開発の様子を間近で見ることができます。貢献している実感を持てた際にはやりがいを感じます。

周囲から信頼を得るために邁進。

自分が上司の立場になる際に部下から頼られるのは当然のこと、自分の業務にとどまらず周囲から信頼を得るために幅広い知見をつけながら成長を目指します。

働く場所紹介 新世代装備研究所

新世代装備研究所では、宇宙やサイバー、電磁波にかかる研究開発に取り組んでいます。事務官や技官、自衛官など様々な職種の人が活躍しています。



防衛装備庁では、陸・海・空の幅広い装備品の業務に携わることができます。また、身近に研究開発の様子を感じられるのは防衛装備庁ならではの魅力です。



✦ 職員業務紹介 ✦

防衛イノベーション 科学技術研究所 総務・会計ユニット

総務・会計ユニットでは、研究所の運営に関わる事務全般を担う立場から防衛イノベーションに繋がる取り組みを支えています。所内全体の業務管理や予算執行計画の取りまとめ、勤務環境の整備、防衛装備庁本庁や所外の研究機関との連絡・調整、来訪者への対応など、日々多岐にわたる業務を行っています。

日々起こる新たな挑戦に取り組んでいく、
楽しさと達成感があります。

難しいほどやりがいがある。

自分自身で課題を解決する楽しさがあります。今までに経験したことのない案件をこなすこともあります。難しくればその分やりがいを感しやすい仕事です。

新しい環境で挑戦できる日々。

新たに設立された研究所のため、
前例のない新しい案件が多いです。
その際に他の職員と共に解決方法を探っていくと、
挑戦している実感を持てます。

働く場所紹介 防衛イノベーション科学技術研究所

正直、最初は防衛装備庁について知りませんでした。しかし官庁訪問の際に先輩たちの話を聞き、新しい部署ならではの成長環境に惹かれて入庁を決めました。



突発的なタスクに対して自分の知識から道筋を立て、そこから解決へ向かっていく時に達成感を得られます。自分で問題解決するたびに成長できる環境です。



✦ 職員業務紹介 ✦

岐阜試験場 業務班

試験場で実施される試験や開発において、必要な物品や役務の契約を行っています。また、普段の業務で必要となる物品の調達要求も業務の一環です。仕様書の作成や物品の要望を取りまとめ、希望時期に納品できるよう心がけています。

裏方の仕事を通して、現在から未来
まで“当たり前が続く日常”を守る。

試験に貢献する実感がやりがい。

試験計測用航空機が飛ぶ際に必要な物品の契約をしたことがあります。パイロットから「これで安心して飛行できます」と言われた際はやりがいを感じました。

手厚いサポートを受けて成長。

まだ調達したことがない物品の調達を自ら志願した際、作成実績がなかった仕様書の作成も手がけました。先輩や上司の支援を受け、無事に納品にいたりしました。

働く場所紹介 岐阜試験場

岐阜試験場では航空機や航空機用機器、航空機搭載誘導武器の性能に関する試験を行っています。そのため珍しい装備品や試験用の機体を見ることができます。



フレックスタイム制も利用可能。また、年次休暇を取得しやすく、休みやすい雰囲気があります。公私を両立し、リフレッシュしながら頑張れる環境です。



海外派遣職員

日米関係の狭間の「現場」に身を置き、日々新たなことに挑戦できる点が魅力です。若手職員であっても装備品の調達に係る対米調整というスケールの大きな業務に関わり、成功や失敗を通じて多くのことを学べる環境です。

英語での業務や日常生活は大変なこともあります。対米調整業務を通じて安全保障に貢献していることを実感しています。



今までに携わった業務の具体例

防衛省は、米国から防衛装備品を輸入する際は、米国政府との間での有償援助調達及び商社や海外製造企業と契約を結ぶ一般輸入調達を通して行っています。私は現在ワシントン事務所に派遣され、米国政府からの有償援助による自衛隊の活動に必要な航空機やミサイル等の大型装備品の調達及び納入等が円滑に履行できるよう、米軍職員等との調整業務に従事しています。



海外派遣職員の1日

職員の業務タイムライン

9:30	業務全体の進捗確認
10:00	事務所内ミーティング
10:30	米軍関係者とのミーティングの準備及び各種調整
12:00	お昼休憩
13:00	米軍関係者とのミーティング
14:00	ミーティング議事録の作成及び各種調整
18:15	次の日の業務計画の後、退庁

職場の雰囲気とやりがい

業務を個ではなくチームでやり遂げる雰囲気があるので、不安なことや分からないことも気兼ねなく相談することができます。日米間における高官級会議の支援などについて、事務所全員で協力してやり遂げた時にはやりがいを感じます。また、課業外については心身のリフレッシュを心がけており、特にサマータイムの期間は夜9時頃まで明るいので、友人とテニスなどをして過ごしています。



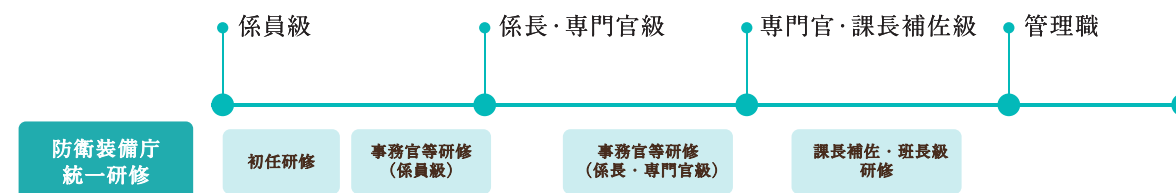
海外派遣職員が描く未来の目標

慣れない海外での調整業務や生活を通じて、失敗を恐れずまずは行動することが大切だと実感しました。この経験を踏まえて、将来どのような業務に携わるようになったとしても、完璧を目指して必要以上に考え込むのではなく、まずは自分のできるところから行動していくという姿勢を大事にしていきたいです。

キャリアステップ

行政職

採用後は、ほぼ2~3年のサイクルで人事異動があります。基本的には防衛装備庁で勤務することになりますが、それだけでなく防衛省の様々な機関での勤務や地方勤務、場合によっては他省庁勤務や海外勤務の機会もあります。様々な経験を積み、視野を広げ管理職を目指していきます。



※採用時、防衛省合同初任研修も受講。

研修

採用後の業務の内容に応じて用意されている研修を紹介します。※あくまでも一例です。

防衛装備庁行政職等初任研修

新規採用者が職員としての基礎知識や心構えを習得するための研修です。

防衛省及び
防衛装備庁の概要

陸・海・空の自衛隊の概要

ビジネスマナー

メンタルヘルスマネジメント

取得マネジメント研修

プロジェクト管理に従事する職員・関係者を対象に“取得マネジメント”等に必要な知識・技能を習得するための研修です。

取得マネジメント基礎

取得マネジメント応用I

取得マネジメント応用II

取得マネジメント実践

調達・会計研修

調達・会計業務に従事する職員を対象に調達や物品管理、監督検査等に必要な知識・技能を習得するための研修です。

調達初級／中級／上級

簿記初級

簿記中級

国際関係研修

海外勤務者や装備協力等業務に従事する職員等を対象に国際関係や貿易管理、語学等に関する知識・技能を習得するための研修です。

武器輸出管理制度

レベル別実用英語

英語(通訳技能)

英語ネゴシエーションスキル

ワークライフバランスの実現 防衛装備庁の働きやすさ

育児や介護等、それぞれのライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができるよう、充実した制度とサポートを提供。
仕事と生活の両立をしながら、長期的なキャリアを築いていくことができます。

1日のスケジュール

子どもの朝の支度(朝食・着替え)や、食器の片づけ・洗濯・風呂掃除等の家事も行います。

勤務開始までコーヒーブレイクをします。

省内にはレストラン、カフェ、フードコート、コンビニが複数あり、日々違うものを食べられます。格安の仕出し弁当も販売しています。

通常は定時退庁できていますが、採用の繁忙期は残業をします。ですが、残業手当はしっかり支給されます。

21時に子どもを寝かしつけ、家事(食器洗いや洗濯、部屋の片づけ、アイロンがけ等)を片づけます。その後、1時間ほど趣味の時間もついています。

6:30 起床

7:50 自宅出発

9:15 登庁

9:30 勤務開始

12:00 昼食

18:15 業務終了

19:15 帰宅

23:00 就寝

子どもを保育園に送り、そのまま登庁。保育園の最寄り駅は自宅の最寄り駅と異なりますが、通勤手当は保育園の最寄り駅から支給されます。

勤務時間制度に関するメール等での問い合わせに、関係規則と照らし合わせて回答します。採用に応募いただいた方の対応や人事評価の指示・取りまとめ・報告、再任用職員の管理、兼業兼職の承認手続き、働き方改革などを行います。

市谷という立地から、帰りに新宿や池袋等で買い物もできて便利です。

利用したことのある制度

- 配偶者の出産休暇
- 育児参加のための休暇
- 子の看護休暇
- フレックスタイム制
- テレワーク

男性育休取得者も多い防衛装備庁

もともと他機関にあり、朝早くから夜遅くまで勤務していたため、子育ては育休中の妻に頼っていました。しかし妻の復職を機に、私も育児や家事をするため、ワークライフバランスに特に理解のある防衛装備庁を希望して異動。実際に「育児時間制度」や「子の看護休暇」など、様々な制度を利用しやすい環境です。また、職場には育休取得者や育児中の職員が多いので、子どもの急な病気への対応やイベントの参加にも、理解を得られやすい点がとても助かっています。

ワークライフバランスを支える制度とサポート

不妊治療休暇

産前・産後休暇

配偶者の出産休暇

育児参加のための休暇

子の看護休暇

育児休業

育児短時間勤務

育児時間

介護休暇

早出遅出勤務

フレックスタイム制

テレワーク

採用情報

各試験の採用予定区分

令和8年度採用予定者については、以下のとおりです。

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)	「行政」 ※「行政」区分では、すべての採用区分の合格者から本省採用を行っております。
国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)	「事務」
防衛省専門職員採用試験	「英語」

採用実績

採用年度	大卒程度試験			高卒者試験	専門職試験
	行政	デジタル・電気・電子 行政職採用	機械 行政職採用	事務	英語
令和3年度	16(6)	0	1(1)	16(8)	2(2)
令和4年度	25(10)	0	0	15(11)	0
令和5年度	17(6)	1(1)	1	12(8)	6
令和6年度	30(10)	0	0	6(4)	8(4)

※()内は女性の人数で、内数。

主な勤務条件

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。表は、新規卒業者で本庁(市谷地区)に勤務の場合(地域手当、本府省業務調整手当を含む。)

一般職(大卒程度)	行政職俸給表(-) 1級25号俸の場合	271,200円
一般職(高卒者)	行政職俸給表(-) 1級5号俸の場合	232,800円
防衛省専門職	行政職俸給表(-) 1級25号俸の場合	271,200円

- 手当

住居手当、通勤手当、扶養手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)等
- 勤務時間

1日7時間45分(原則として土曜日、日曜日、祝祭日は休み)
- 休暇

年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日)、病気休暇、介護休暇、特別休暇(夏季・結婚・忌引き等・ボランティア等)があります。
- その他

育児休業、育児短時間勤務、早出遅出勤務、フレックスタイム制等の体制も整っており、活用している職員が多くいます。

転勤・ブロック管理紹介

